

門真市民生委員児童委員協議会の歴史

- 1917年 (大正6年) ● 民生委員制度のもととなる岡山県済世顧問の設置
- 1918年 (大正7年) ● 大阪府で全国初の方面委員制度の開始
- 1948年 (昭和23年) ● 民生委員法施行 ● 門真町民生委員協議会の創設
- 1968年 (昭和43年) ● 民生委員による初の社会福祉モニター調査報告書「ねたきり老人の実態」が大きな反響を呼ぶ
- 1977年 (昭和52年) ● 門真市民生委員協議会創設30周年を記念して市役所旧本館前にくすのきを植樹
- 2006年 (平成18年) ● 「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」を実施
- 2017年 (平成29年) ● 民生委員制度創設100周年 ● 児童委員制度創設70周年
- 2018年 (平成30年) ● 大阪府方面制度創設100周年 ● 門真市民生委員児童委員協議会創設70周年

門真市では地域を15地区（おおむね小学校区）に分け、地区ごとに担当委員を決めています。相談事があるなど、お住まいの地域の民生委員・児童委員を知りたいときは、福祉政策課までお問い合わせください。

問合せ 福祉政策課 ☎06(6902)6093

地域を支える

ボランティア

皆さんがお住まいの地域に、民生委員・児童委員と呼ばれる方がいるのをご存知ですか。

民生委員・児童委員は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っています。

核家族化が進み、地域のつながりが薄くなっている今、子育てや介護の悩みを抱える人や、障がいのある人、高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そんなとき、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談役となり、支援を必要とする人と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。

また、子育てサロンや高齢者サロンの開催、気になる世帯への訪問など、地域の実情に応じたさまざまな活動を行っています。



今も青々と生い茂っています

Q. どんな活動をしているの？

A. 地域の見守りや相談・支援など幅広い活動を行っています。

未就学児の親子を対象とした子育てサロンや親子人形劇、ひとり暮らしの高齢者とのふれあい食事会や地域でのお花見会の開催など、地域の皆さんとの交流を盛んに行っています。また、親子クリスマス会の開催や年賀状の配布など、季節に合わせた活動も行っています。さらに、多くの高齢者が暮らす門真市で安心して暮らせる地域社会をつくるため、市と連携し、1年間介護保険の利用のなかった高齢者のお宅の訪問や、緊急時の連絡先やかかりつけの医療機関、持病などの情報を保管する救急医療情報キットの配布を市と協力して行っています。



特集

地域福祉の担い手

民生委員・児童委員を知っていますか

民生委員・児童委員は、それぞれの地域に住む人が活動の担い手となり、高齢者、障がい者、子育て世帯など、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりを進めています。

そんな意外と知られていない身近な地域の相談役を紹介します。



大阪府民生委員児童委員協議会連合会キャラクター「ミンジー」



赤井雅美副会長

私のほうが見守られているんじゃないか、と感じることがあります。

民生委員 児童委員 インタビュー

私たち民生委員・児童委員は、幅広い研修を受け、地域の皆さんの不安や心配事に対応できるように日々学んでいます。私たちに守秘義務が課せられていますので、相談の内容はもちろんほかにも口外することはありません。

普段は、買い物などで町内を歩いたりしている時に子どもたちや高齢者などに何か変化がないか、などを気をつけるように心がけています。

昨年は、東京で開かれた民生委員制度創設100周年記念大会に参加させていただき、日本全国で多くの民生委員・児童委員が100年もの間さまざまな人々に寄り添い、信頼されてきたということに感動しました。私も、微力ではありますが、その中の一人に加えていたたいと思っています。

また、市の救急医療情報キットの配付の際には対象のご家庭を何度も訪問し、「大変だな」と思うこともあります。民生委員・児童委員として沢山の人の出会い、色々なお話をさせてもらううちに、「私のほうが地域の皆さんに見守ってもらっているんじゃないかしら」と感じることもあります。

5月12日は民生委員・児童委員の日

今から約100年前の大正6年5月12日に民生委員制度のもとになる済世顧問制度が施行されました。

それにちなみ、毎年5月12日を「民生委員・児童委員の日」とし、5月12日からの1週間を「活動強化週間」として、民生委員・児童委員やその活動への理解を深めてもらうため、さまざまなPR活動に取り組んでいます。

今年は門真市民生委員児童委員協議会の創設70周年ということもあり、市内の各駅で啓発のためにトートバッグを配布しました。



(上) 配布したトートバッグ (左) 道行く人にPR

地域の声

一人暮らしの高齢者でも安心して生活できます。

私の住んでいる地域は単身の高齢者が多く住んでいますが、長期で外出する際にはお隣の方に郵便物を預かってもらったり、収穫されたお野菜をいただいたり、日頃からお互いを見守る関係ができています。

とは言うものの、1人で食事をするときには、やはり寂しいと思うこともあります。民生委員の方が主催するお食事会に参加しています。そこでは地域の方々と楽しくおしゃべりしたり、体操やクイズをして、とても楽しい時間を過ごしています。

民生委員の方には地域の行事を案内してもらったり、声かけしていただけるので、私の住んでいる地域では一人暮らしの高齢者でも安心して生活できます。



東 正子さん (常盤町)